

第3回定例会が開催されるにあたりまして、第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

静岡県藤枝市との
都市間交流について

はじめに、静岡県藤枝市との都市間交流について申し上げます。

8月5日に、藤枝市の北村市長が当市を訪問され、今後における双方の交流について私と意見交換を行いました。

藤枝市とは、平成24年に産業振興の先進地として本市が視察したことがきっかけで交流が始まり、その後、経済交流や子どもたちのスポーツ交流が進められ、平成26年には災害時相互応援協定を締結しております。

歴史や地域性が異なる都市と交流を進めることは、それぞれのまちに良好な刺激をもたらし、様々な分野でのまちづくりに極めて有益であり、市民にとっても大変有意義なものと考えております。

今回の藤枝市長の訪問を契機に今後の恵庭のまちづくりに活かすことができるような交流の進め方について検討して参ります。

大雨被害について

次に、大雨被害について申し上げます。

8月11日から12日の夜にかけて、大気の状態が非常に不安定となった影響から、雷を伴った非常に激しい雨が短時間で局地的に降り、2日間の降水量は恵庭で69ミリ、島松で51ミリ、1時間の最大降水量は恵庭で28ミリ、島松では48ミリを観測しました。これにより本市では冠水などによる道路被害13件、公共施設では恵庭中学校グラウンドの土砂流出など16件の被害がありました。

被害額につきましては、現在取りまとめているところでありますが、応急復旧にかかる経費について、別途、補正予算を提案いたしますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

総合防災訓練について

次に、総合防災訓練について申し上げます。

9月2日に、恵庭市北東部を震源とする直下型地震災害を想定した総合防災訓練を市役所本庁舎、北海道文教大学並びに恵庭市社会福祉協議会、子ども発達支援センターを会場として実施いたしました。

当日は、降雨により急遽一部予定を変更しましたが、防災関係機関との相互連携の向上と、地域住民の防災意識の高揚を図るという目的にそって実施いたしました。参加人員約700人、参加機関118団体、消防車両9台を動員して、10項目にわたる訓練を行い、防災関係機関の連携や町内会・自治会等の自主防災組織など地域住民に積極的に訓練に参加いただいたところであります。

現在、訓練結果について検証中ではありますが、それぞれの訓練項目の検証をしっかりと行い、今後の防災対策及び体制の整備に努めて参ります。

自衛隊の体制維持・強化について

次に、自衛隊の体制維持・強化について申し上げます。

国においては平成25年末に閣議決定された「平成26年度以降に係る防衛計画の大綱」や中期防衛力整備計画に基づき、新たな防衛体制の構築を図っておりますが、市といたしましては、今後予定される現中期防衛力整備計画の見直しや次期中期防衛力整備計画の策定においても、本市に所在する3駐屯地の体制維持・強化が図られるよう、7月16日に市議会議長とともに防衛省や国会議員などへ要望を行っております。

また、8月3日には自衛隊の体制維持・強化を求める恵庭市民の会による要望活動を実施しており、さらに4日には北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会による中央要望へも参加したところであります。

今後も国の動向などに注視しながら、引き続き自衛隊の体制維持・強化に取り組んで参ります。

第5期総合計画の

次に、第5期総合計画の策定について申し上げます。

策定について

これまで、市議会総合計画特別委員会や総合計画審議会での審議をはじめ、8月25日に分野別団体の方々への説明会を、9月3日から8日にかけて地区別説明会を行い、現在、基本構想案についてパブリックコメントを実施しているところであります。

今後、12月議会において議案の提案を予定しておりますが、引き続き、ご意見等を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

恵庭市総合戦略・人口ビジョンの策定について

次に、恵庭市総合戦略・人口ビジョンの策定について申し上げます。

7月23日に第2回恵庭創生懇談会を開催し、恵庭市総合戦略骨子素案、恵庭市人口ビジョン骨子素案をお示しし、貴重なご意見を頂きました。また、現在パブリックコメントを実施し、市民意見を広く聴取しているところであり、10月末策定に向けて作業を進めております。

なお、総合戦略に関連して本定例会におきまして、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の上乗せ交付分について、補正予算を提案しておりますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

国勢調査の実施について

次に、平成27年国勢調査の実施について申し上げます。

国勢調査は、統計法に基づき、国内に住むすべての人と世帯を対象とする最も重要な統計調査で、5年に一度実施されており、本年は20回目に当たります。

今回は、9月10日よりインターネットでの回答を一定期間受け付け、回答のなかった世帯にのみ調査票を配布し、10月1日から回収する方法となっております。調査結果は、国や都道府県、市町村で行う行政の基礎資料などとして利用されますことから、住民の皆様方のご協力をお願いするものであります。

市民の広場について

次に、市民の広場について申し上げます。

昨年度より、地域からの生活環境の改善に関する要望は「生活環境改善要望」として対応し、市民の広場は、テーマに沿った地域との将来のまちづくりに向けた意見交換・懇談の機会として開催しております。

今年度は「エコバスを考える」をテーマにワークショップ形式により7月に恵庭地区で2回、恵み野地区で1回、島松地区で1回の計4回開催し、121名の参加をいただき、市民目線による恵庭市の公共交通の意見交換を行っております。

いただいたご意見については、今後の公共交通施策に活かして参ります。

交通死亡事故の発生について

次に、交通死亡事故について申し上げます。

8月に恵庭市内において2件の交通死亡事故が発生しております。

1件目は、南島松の市道交差点において乗用車とトラックが衝突し、乗用車の同乗者が1名、もう1件は、西島松の国道36号線において逆走した乗用車と軽自動車とが正面衝突し、軽自動車の運転手が1名、併せて2名の方が犠牲となっております。ご家族の皆様にご心からお悔やみ申し上げます。

今後の交通安全対策としましては、事故再発防止に向けた事故現場の道路診断を行い、事故原因の究明及び交通安全対策を講じるとともに市民への啓発を強化するほか、関係機関との連携をより一層密にしながら交通死亡事故ゼロを目指して参ります。

第64回全道身体障害者福祉大会恵庭大会の開催について

次に、第64回全道身体障害者福祉大会恵庭大会の開催について申し上げます。

9月6日に北海道身体障害者福祉協会の主催により、恵庭市民会館で開催された恵庭大会では、全道各地から約450名の身体に障がいのある

る方々が参加し、その他に約150名の大会役員及び市内関係団体ボランティアなど併せて合計約600名の参加となりました。大会の中では、身体障がい者の更生活動、自立支援に関する援護活動に対する表彰、障がい者施策の課題及び障がい当事者団体の今後の活動方針等についての意義深い協議等が行われました。

また、ボランティアとして参加された方におかれましては、障がいのある方々と触れ合う経験を通して、障がいに対する理解促進に寄与できたものと考えております。

恵庭市多子世帯支援商品券事業の実施について

次に、「恵庭市多子世帯支援商品券事業」の実施について申し上げます。国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、18歳以下の子どもが3人以上いて、支給要件に該当した世帯に対し、「恵庭市多子世帯支援商品券」を9月25日から配付いたします。

利用期間は、配付日から12月31日までとし、使用できる店舗につきましては、ポスターにて掲示しております。

今後も、子育て支援の各種施策の充実に努めて参ります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

今年の農作物の生育状況につきましては、6月と8月に集中豪雨や降雹が発生し、スイートコーンや大豆の一部の圃場で倒伏や葉の折損などが確認されましたが、大きな被害には至っておりません。

また、春からこれまでの間は、気温や日照時間がともに平年並以上で推移したことから、水稻や小麦、野菜など農作物全般の生育が概ね順調に推移しております。

なお、年々作付面積が増加している小麦につきましては、収穫作業が無事終了しており、品質や収量は平年並以上になる見込みと聞いており

ます。

排水機場の移設工
事及び土地改良事
業について

次に、排水機場の移設工事及び土地改良事業について申し上げます。
恵庭北島地区国営土地改良事業につきましては、北島西7線排水機場の移設工事が7月に着工されたほか、関連する排水路の新設・改修の整備について、平成32年度の完了に向けて工事が進められております。

また、国営事業に関連した排水路の改修工事を含め、漁川右岸地区、漁川左岸地区北栄・島松地区の土地改良事業は、4月に開設した「えにわ土地改良事業推進センター」が中心となって、道営経営体育成基盤整備事業の計画の樹立に向けて、準備が進められております。

更に、西3線幹線排水路の整備につきましては、国の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業を活用し、4月から着工し、平成28年度の完成を目標に工事が進められております。

えにわプレミアム
付商品券について

次に、「えにわプレミアム付商品券事業」について申し上げます。
国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した「えにわプレミアム付商品券」につきましては、6月12日から販売を開始し、第2次販売までに50,537冊、6億644万円分の商品券を販売したところであります。7月から商品券の利用を開始しておりますが、7月段階で1億6千万円の利用実績があり、このうち、3割弱が小売店での利用となっていることから、地域の消費喚起のみならず、地域経済の活性化にも貢献しているものと考えております。

なお、第2次販売におきましては、予想をはるかに超える購入希望者があり、混乱を招く結果となり、市民にご迷惑をおかけしたことに對してお詫びを申し上げます。

今後は、第2次の販売時に配布した整理券で、未換金の商品券を販売することとし、販売につきましてはハガキでの申込みにより抽選する方

法とさせていただくことで、既に販売要領等につきましては市民周知しているところであります。

雇用対策について

次に、雇用対策について申し上げます。

道内の景況は、全体的に持ち直し傾向が続いており、雇用情勢も穏やかに回復しておりますが、恵庭・千歳管内における7月末の有効求人倍率は0.80倍と前年同月に比べ0.11ポイント上昇しており、ここ数年は改善傾向にあります。

市としましては、より多くの就業機会の場を提供できるよう、7月の一般求職者並びに高校生を対象とした「就職支援セミナー」の開催や、市内での就職者を増やし定着を図るため、8月には市内企業3社を訪問するバスツアーの実施とともに、9月にも市内企業25社の参加による合同企業就職説明会の開催を予定しており、今後も、引き続き求職者の就業支援対策を講じて参ります。

以上、はなはだ簡単ですが第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、今議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。

